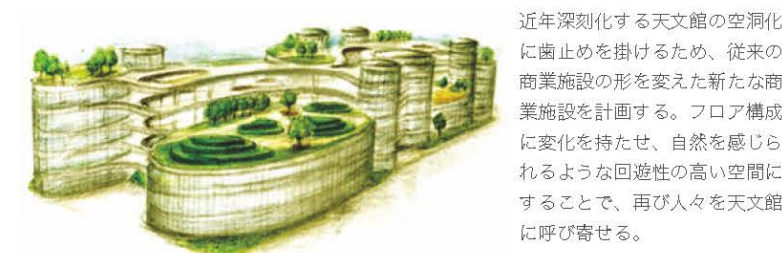


The Hanging Gardens Of Kagoshima 今西 恵理子



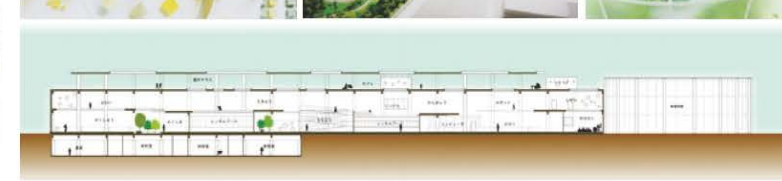
近年深刻化する天文館の空洞化に歯止めを掛けるため、従来の商業施設の形を変えた新たな商業施設を計画する。フロア構成に変化を持たせ、自然を感じられるような回遊性の高い空間にすることで、再び人々を天文館に呼び寄せる。



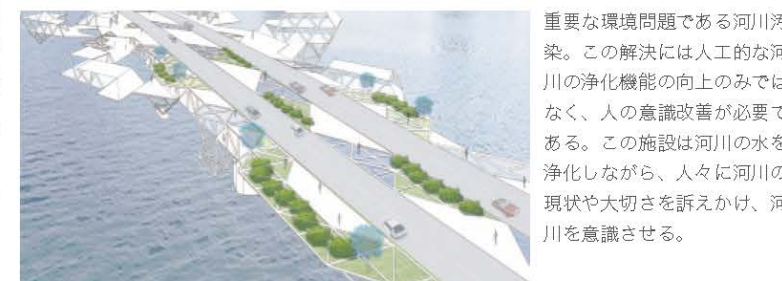
こころ うごく つながる 金子 友見



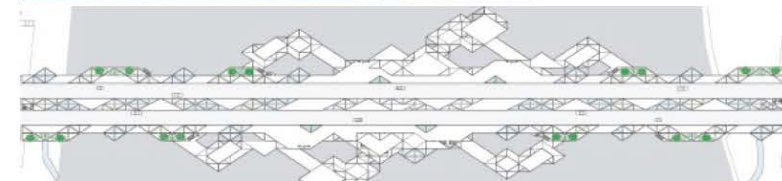
考えることや体験することは年齢に関係なくこころを豊かにするものがあり、日常生活をほんの少し楽しくする。そうして誰かが楽しんでいる姿や懸命に頑張る姿から刺激やエネルギーをもらうことで、こころのうごきがつながる複合教育施設の提案。



水質浄化博物館 竹内 祐太



重要な環境問題である河川汚染。この解決には人工的な河川の浄化機能の向上のみではなく、人の意識改善が必要である。この施設は河川の水を浄化しながら、人々に河川の現状と大切さを訴えかけ、河川を意識させる。



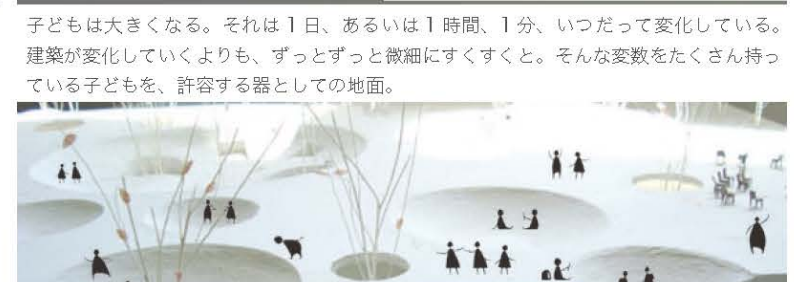
農業系集合住宅 野見山 周作



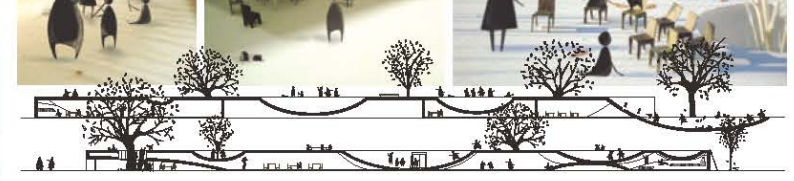
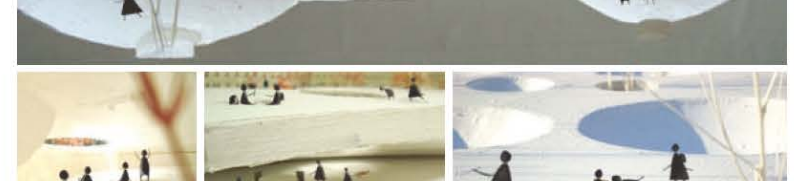
水田の中に人が暮らすことを考える。ここに住む人々は、庭で草花を育てるような感覚で水田を育て、自給自足をしながらその風景を共有していく。生きることを目的とした集合住宅。



子どもの地面 花原 裕美子



子どもは大きくなる。それは1日、あるいは1時間、1分、いつだって変化している。建築が変化していくよりも、ずっとずっと微細にすくすくと。そんな変数をたくさん持っている子どもを、許容する器としての地面。



ミカエリビジョン 松添 愛子



たった一文字で人の個性や感情を表現することができる『書』は、自身の分身のような存在となり、己にも働きかける。自身について見返る空間は都市の新たなオアシスとなる。



つみきのやま 味園 将矢



無機物を中心とする近代建築は有機の輪廻から外れ、自然と都市を歪ませている。『つみきのやま』は間伐材をその場で積み上げることでできる建築である。ソレは日本で木の塊として鎮座し、有機の輪廻を廻し始める。



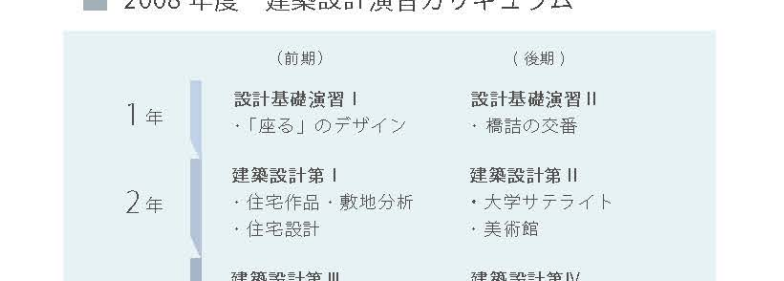
カイホウ都市 和田 大典



都市の中で起こる人々の多様な活動。これらをアルゴリズムとして都市を解いていく。木が周りの環境を吸収しながらある一定の秩序で枝を伸ばしていくように、アルゴリズムというフィルターは都市にやわらかい秩序をつくりだす。



かごしまデザインコンペ2009 デザイン大賞 「都市のプランター」 内村幸太 + 佐藤千草 + 津野田祐基 + 富山晃一



第2回長谷工住まいのデザインコンペティション 最優秀賞 「小さな都市、大きな家族」 富山晃一 + 岩元俊輔 + 津野田祐基



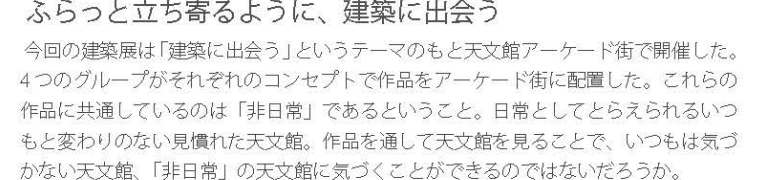
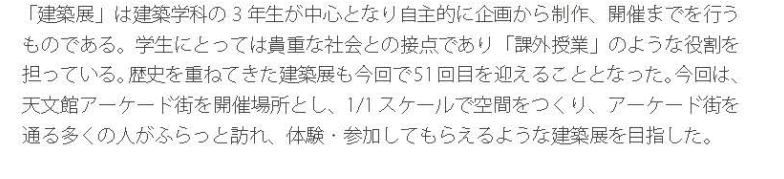
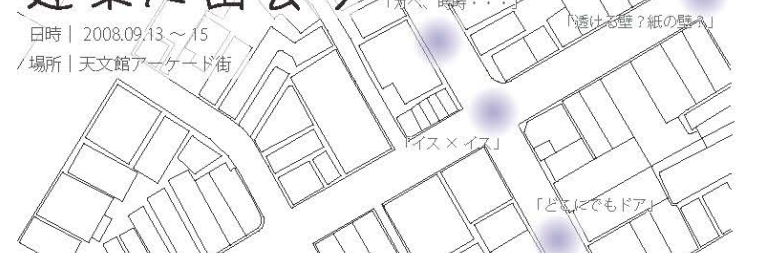
かごしまデザインコンペ2009 デザイン大賞 「都市のプランター」 内村幸太 + 佐藤千草 + 津野田祐基 + 富山晃一



鹿兒島大学動物病院改修コンペ 最優秀賞 「壁×壁=いごこち」 岩元俊輔 + 田葉孝憲 + 吉田浩司

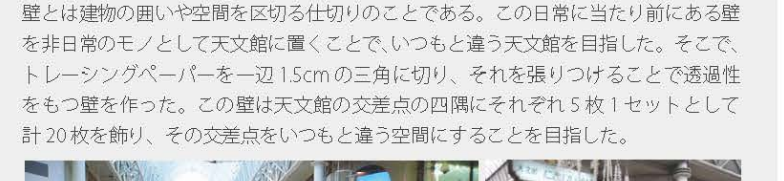


建築に出会う 日時: 2008.09.13 ~ 15 場所: 天文館アーケード街



ふらっと立ち寄るように、建築に出会う

今回の建築展は「建築に出会う」というテーマのもと天文館アーケード街で開催した。4つのグループがそれぞれのコンセプトで作品をアーケード街に配置した。これらの作品に共通しているのは「非日常」であるということ。日常としてとらえられるいつもと変わりのない見慣れた天文館。作品を通して天文館を見ることで、いつもは気づかない天文館、「非日常」の天文館に気づくことができるのではないだろうか。



「透ける壁?紙の壁?」

壁とは建物の囲いや空間を区切る仕切りのことである。この日常に当たり前にある壁を非日常のモノとして天文館に置くことで、いつもと違う天文館を目指した。そこで、トレーシングペーパーを一辺15cmの三角に切り、それを張りつけることで透過性をもつ壁を作った。この壁は天文館の交差点の四隅にそれぞれ5枚1セットとして計20枚を飾り、その交差点をいつもと違う空間にすることを目標とした。

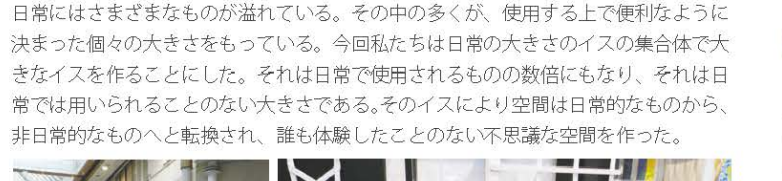


「イス×イス」



いつもの天文館、いつもと違うテンモンカン

今回私たちが制作した作品は「建築」と呼べるが分からない。しかし、建築展を通して学んだことは多く、社会との接点を持たせたことは私たちにあって貴重な体験となった。今回の建築展はすべての作品を通りぬぐい路上に展示したため数多くの問題があり、様々な方々のご協力なしでは開催することはできなかった。天文館商店街の皆様をはじめ、暖かご理解とご支援下さいました企業の皆様、ご来場下さいました皆様、このような貴重な体験をさせて頂き誠にありがとうございました。



「カベ、時々・・・」

いつも何気なく通る天文館。その中で気に留めていなかった天文館に気づくことはできないだろうか。そこで用いたのは、ベニヤ板と角材で作った5枚の壁。さまざまな大きさの窓が壁のいたるところに開けられ、アーケード街に配置される。壁によって生まれた空間では、壁によって切り取られた景色を目にする。白く美しいアーケード、店先の小さな植物、そこではいつも気づかないさまざまな天文館に出会う。



鹿兒島大学工学部建築学科 建築設計作品集 aae vol.4  
編集 富山晃一 (鹿兒島大学大学院理工学研究科博士前期課程2年)  
編集協力 坂野健太郎 (鹿兒島大学大学院理工学研究科助教)  
監修 鹿兒島大学工学部建築学科

鹿兒島大学 工学部 建築学科  
http://aae.aae.kagoshima-u.ac.jp/  
office@aae.kagoshima-u.ac.jp  
〒890-0065 鹿兒島県鹿兒島市郡元1丁目21-40

2008年度 建築設計演習カリキュラム

	(前期)	(後期)
1年	設計基礎演習Ⅰ ・「座る」のデザイン	設計基礎演習Ⅱ ・機軸の交番
2年	建築設計第Ⅰ ・住宅作品・敷地分析 ・住宅設計	建築設計第Ⅱ ・大学サテライト ・美術路
3年	建築設計第Ⅲ ・屋内競技施設 ・小学校	建築設計第Ⅳ ・病院 ・集合住宅
4年	卒業設計	





□「座る」のデザイン

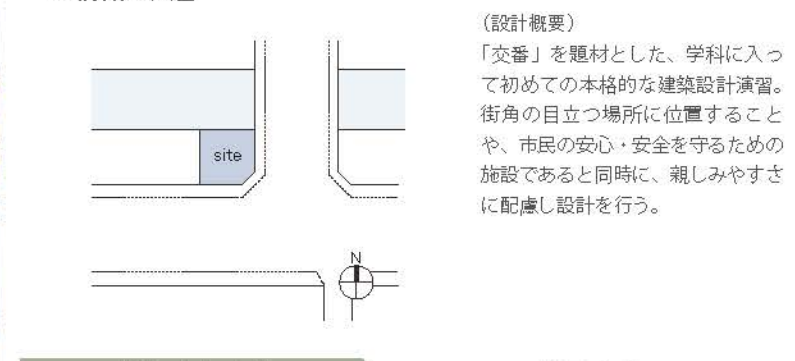


学内合同講評会

日時：2009/02/20  
場所：鹿児島大学協盛会館  
今回の作品集展覧の設計課題作品は、2月20日に行われた学内合同講評会に出展されたものです。(写真は講評会の様子)



□橋詰の交番



開かれた交番 岩田 奈々



そばにある交番 大鳥 香菜子



陸の灯台



CROSS BOX 長瀬 優



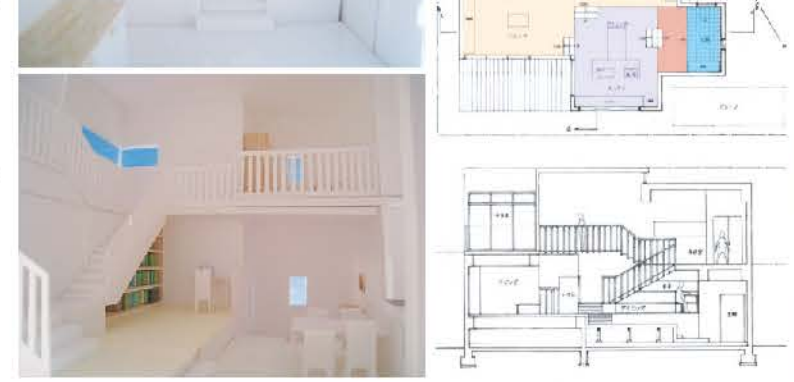
□小公園があるまちの住まい



bump 久保田 涼子



wing roof 橋口 由布子



家の中に公園



by 橋口 由布子



□まちなかの大学サテライト



Various view 真鍋 宏規



SHOW CASE 由村 未来



FOREST ~ for rest ~



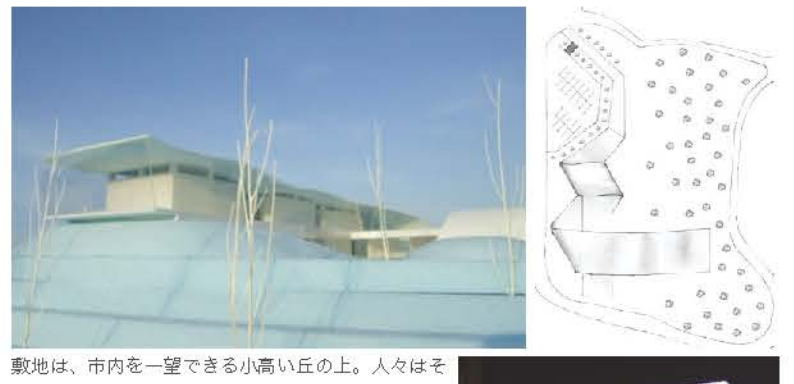
by 丸田 祐翠



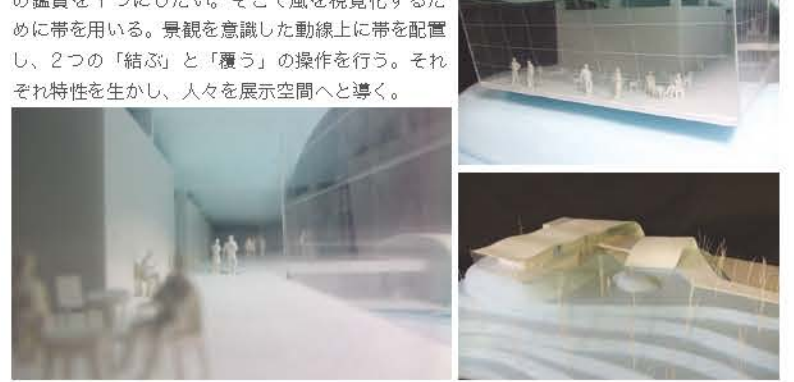
□美術館



帯 x tie 木村 直樹



FOREST ~ for rest ~ 丸田 祐翠



voyage



by 山下 大介



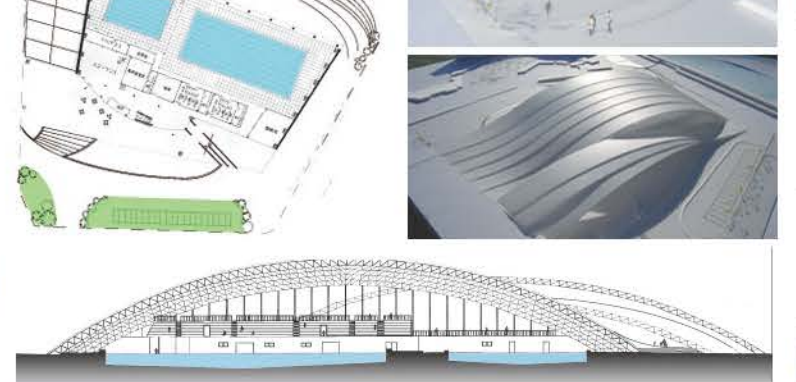
□屋内競技施設「スイミングプール」



sapuuun 永山 由里香



voyage 山下 大介



Unity



by 東 真人



□小学校



Liberty school 西園 誠



Unity 東 真人



ヒトノモリ



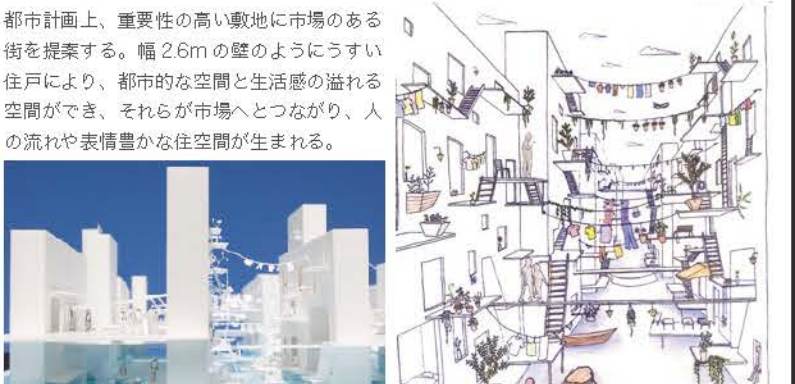
by 右田 正信



□集合住宅



ありえたかもしれない風景 東 佑二郎



Walk Way 古家 靖士



ヒトノモリ



by 右田 正信

